

2019 年 11 月 25 日

株式会社アビスト

(証券コード: 6087 東証 1 部)

コンピュータビジョン技術による構内位置把握技術の共同開発開始について

株式会社アビスト(本社: 東京都三鷹市、代表取締役社長: 進 勝博)は、エスピーメディアテック株式会社(本社: 京都府向日市、代表取締役社長 木下 寧久、以下「SMT」)とコンピュータビジョン技術を活用した倉庫管理のための構内位置把握技術の共同開発を開始しました。

【共同開発の背景】

GPS 信号が届かない環境でも位置を特定できる技術はさまざまありますが、以下のような条件を満たす、実際の現場にマッチしたものはまだ少ないと見ています。

- ユーザが簡単にすぐ使える
- 建屋や施設の改修が少ない

【共同開発の概要】

SMT の荷物管理のノウハウと、当社の AR 空間把握技術・AI 画像認識技術を組み合わせて、以下のような特徴を持つ位置把握技術の実現を目指します。

- 全自動: ユーザの運用の負担が少ない
- 整備性: 建屋や施設の改修が少ない
- 汎用性: 利用環境の制限が少ない

【当社の新規事業の取り組みについて】

当社は、2019 年 3 月に AI ソリューション部を新設し、エンジニアを増強するとともに、AI スタートアップ企業と連携して、製造業のスマート化の実現に向けて活動してきました。今後もスピード感を持って、製造業の成長に貢献できるような事業活動をおこなってまいります。

AI ソリューション事業本部 Email: abist-ai@abist.co.jp

以上